

二年
国語
Gアップシート
読む7

組 番・氏名

★情報を発信するために、メディアの表現の特徴を分析しよう

◇先日行われた体育祭の様子を地域の方々に発信することになりました。そこで鈴木さんは、どういう方法で情報を発信するか提案するため、オリンピックに関する新聞とインターネットの記事を見て、表現の特徴について調べることにしました。

【新聞記事】

水野、銅メダル獲得

日本男子百メートル史上初の二大会連続

〇〇オリンピック
陸上競技男子百メートルが
8日、当地の国立陸
上競技場で行われ、
日本の水野大機が決
勝に進み、3位に入
賞した。1位はアメ
リカのペイトン・マ
ニング、2位もアメ
リカのドリュー・ブ
リーズが入った。水
野のオリンピックで
のメダル獲得は、前
回の〇〇オリンピッ
クに続き2度目で、
日本人としてこれま
でこの種目でメダル
を獲得したのは水野
のみ。
エースの責任を
果たす走り
〇：日本のエースと
しての責任を負っ
ての走りであった。
大会前のインタビュー
では怪我による調
整の遅れを口にし、
一時は出場さえ危ぶ
まれる事態となつて
いた。それでも彼を
走らせたのは「これ
まで支えてくれた人
たちへ感謝の気持ち
を届けたい」「若い
他の選手達の見本と
なりたい」の思いで
あった。周囲は世代
交代が進んでおり、
同世代には引退し、
指導者への道を歩み
出した仲間も多い。
その中で現役にこだわ
り、ベテランとして若
手を引っ張った。レー
ス後の「自分が陸上界
の役に立てたならうれ
しいね」と語る顔には
満足感が漂っていた。
インタビュー後は
「まだ出番があるかも
しれない」と顔を引き
締めた。リレーでは補
欠だが、不測の事態に
備えてレースの準備は
まだ続く。まだ緊張の
糸を緩めるわけにはい
かないようだ。

【高橋智子】

毎朝新聞 201*年9月9日の記事より

【インターネット】

オリンピックへの道
～水野選手の活躍を追うブログ～

201*年9月8日

やってくれました！

水野選手がついにやってくれました。銅メダルですよ、みなさん。これまで応援してきたか
いがあったというものです。オリンピック会場
まで応援に来てよかった～。とりあえず今は結果
だけ。やったね(^o^)

管理人：唯 201*-9-8 9:13

【この記事へのコメント】

よかったですね！

私も密かに応援していました。頑張った結果が
出てよかったですね！

投稿者：瑞季 201*-9-8 9:22

Re:やってくれました！

僕は水野選手の地元の者ですが、周りみんな喜
んでますよ。彼は我が町の誇りです！

投稿者：陵介 201*-9-8 9:30

Re:やってくれました！

1位の選手が失格で、水野選手が2位になるって
噂がありますけど、ほんとですか？

投稿者：麗奈 201*-9-8 9:38

二年	国語	Gアップシート	読む7
----	----	---------	-----

組	番・氏名
---	------

★情報を発信するために、メディアの表現の特徴を分析しよう

問一 鈴木さんは新聞の記事の中の「不測の事態」という言葉の意味がわからず辞書で調べたところ「不測」は「予測できないこと、思いがけないこと」、「事態」は「物事の状態、成り行き」とありました。新聞記事の中で「不測の事態」とはどのようなことを指しますか。次のア～オから一つ選びなさい。

【抽象的な概念を表す語句に注意して読む】

- ア リレーのスタートでフライングが起こること。
- イ リレーのバトンを競技中に落としてしまうこと。
- ウ リレーの決勝で見事に優勝をかざること。
- エ リレーの予選で負け、決勝に出られないこと。
- オ リレーの選手が競技の前に怪我をすること。

問二 鈴木さんはインターネットのブログの中に「かいがあつた」という表現があるのを見て、自身の経験の中にこの言葉と同じようなことがあったことを思い出しました。次のア～オの中で、この言葉を用いて表現するのに適切なものを全て選びなさい。

【書き手の思いを表す語句に注意して読む】

- ア お風呂掃除をしていたら、母がお風呂用の洗剤をくれたこと。
- イ 勉強をしていたら、テストでいつもより高い点が取れたこと。
- ウ 家の雪かきをしていたら、父からお小遣いをもらえたこと。
- エ 昼寝をしていたら、いつの間にか夕方になっていったこと。
- オ 家でテレビを見ていたら、祖父から小包が届いたこと。

問三 鈴木さんは新聞記事を見て、この記事の筆者が「水野選手が逆境にも負けずに努力を続けたこと」を強調しようとする意図を感じました。その意図を感じさせる、水野選手に対する逆境の事実が書かれている二つの文を探し、初めの五字を書き抜きなさい。

【例示の効果等を比較して読む】

問四 新聞記事とインターネットのブログには、見出しに違いがあります。そのことについてまとめ
た次の文章の①②に最も適するものを、アウオから選びなさい。

【見出しと本文との関係と比較して読む】

見出しと記事と比較すると、どちらも記事の内容に関わる見出しになっているが、
新聞の見出しは ① に対し、インターネットのブログの見出しは ② 。

- ア 書き手の気持ちが自由に書かれている
- イ 書き手のこれからの希望が書かれている
- ウ 読み手が知りたいことへの答えが書かれている
- エ 読み手の心を動かすように書かれている
- オ 記事の内容がすぐわかるように書かれている
- カ 記事の内容をくわしくわかるように書かれている



②	①

問五 鈴木さんは両方の記事を比べてみて、自由な構成で書かれているインターネットの記事に対し
て、新聞の記事には文章構成に決まりがあると考えました。次の文章はそのことを説明したもの
です。文中の空欄①③には語群Aから、空欄②④には語群Bから適切なものを選びなさい。

【文章の構成に着目し、情報の特徴の違いをまとめる】

【語群A】

私は二つの記事を比較して、文章の構成の違いに気がつきました。
新聞の記事は、「①」「②」のような③から先に記述し、「③」のような④は後に
記述されています。
対してインターネットの記事は、そのような決まり事が無く、書きたいことを書きたい順に
自由に書いています。

【語群A】

- ア 日本男子百歳史上初の二大会連続
- イ 日本のエースとしての責任を背負った走りであった。
- ウ 日本の水野大機が決勝に進み、3位に入賞した
- エ 毎朝新聞 201*年9月9日の記事より

【語群B】

- ア 客観的な事実
- イ 主観的な内容
- ウ 書き手のねらい
- エ 読み手の要望

④	③	②	①

問六 次の文章は、新聞記とインターネットの表現の特徴の違いについてまとめたものです。文章中の空欄に当てはまるものをア～オから二つ選びなさい。

【表現の仕方に着目し、情報の特徴の違いをまとめる】

新聞は公共の情報メディアだが、インターネットは個人の情報メディアにもなる。このことから [] といった違いが生まれてくる。

- ア 新聞は図や表を使えないが、インターネットでは自由に使うことができる
- イ 新聞は活字で書くが、インターネットは手書きすることができる
- ウ 新聞では顔文字は使わないが、インターネットでは自由に使うことができる
- エ 新聞は主に縦書きで書くが、インターネットは主に横書きで書く
- オ 新聞は書き言葉で書くが、インターネットは話し言葉でも書ける

◇鈴木さんは二つの記事を調べた結果、体育祭の情報発信の方法は新聞の方がよいと考え、次のように提案の文章を考えました。

私は地域の方に体育祭の様子を発信する方法として、新聞を提案します。その理由としては二つあります。

一つめは情報のわかりやすさです。新聞には決まった構成があり、それは読み手が分かりやすいように、とても工夫されたものです。この構成は [] だと思います。

二つめはメディアとしての手軽さです。仕事等で忙しい地域の方々に見ていただくために、地域の方々がいつでも見られるところに掲示したり、手軽に手にできたりする必要があります。新聞ならば地域の方々も負担なく見られます。インターネットはパソコンや携帯を上手に使えないお年寄りの方は、見る事ができないかもしれません。

以上のことから私は体育祭の様子を発信する方法として、新聞を提案します。

問七 文章中の空欄に当てはまる文を、ア～オから二つ選びなさい。

【自分の知識や体験と関連付けながら考えをまとめる】

- ア 昔から続いているものなので、年配の方にもなじみを持って読んでもらう事ができる
- イ ルールがあらかじめ決まっているので、どんな人でも簡単に記事を書くことができる
- ウ 大事なことから先に述べる形なので、忙しい人にも短時間で読んでもらう事ができる
- エ シンプルなもので、小学生や小さな子供にもかたんに理解することができる
- オ 見た目が整っていて美しいので、何かの折に目を引きやすく、読んでもらいやすい

【読む7 情報を発信するために、メディアの表現の特徴を分析しよう】

- 問一 オ 問二 イ、ウ 問三 大会前のイ 周囲は世代 問四 ①オ ②ア
問五 ①ウ ②ア ③イ ④イ 問六 ウ、オ 問七 ア、ウ

解説 問一

意味のわからない語句について辞書で調べた時には、辞書的な意味を理解した上で、その語句が文章中ではどのような意味を表しているのかを考える必要があります。特に抽象的な意味を持つ言葉の時には、文脈から個別の意味をとらえていきましょう。

問二

心情を表す語句を理解する際には、自分の経験を生かすことが大切です。自分の体験や読書経験の中に、同じような心情の場面がなかったか考えてみましょう。また、語句の理解を深めることが文章の理解も深めるので、理解した心情を表す語句から文章全体について考えてみることも必要です。

問三

文章中で具体例を挙げるのは、抽象的なことからを具体例で示すことで、読み手の理解を助けるためです。そのため、文章中の具体例をそのまま受け取るのではなく、どんなことを伝えるために用いられているのかを考えることが大切です。筆者の伝えたいことは具体例の前後に書いてあることが多いので、文章のまとまりを意識して読み、理解しましょう。

問四

見出しの書き方は文章の目的によって変わります。新聞では見出しによって読み手に記事の内容をおおまかに理解させ、その後で記事の本文でくわしいことを伝える構成になっています。そのため見出しは記事の大事な部分を端的に表したものであることが求められます。インターネットでは見出しは自由に書かれています。読み手の興味を引くようなインパクトのある見出しが用いられることが多いです。

問五

文章構成の違いは、どんな読み手にどんなことを伝えるかで変わります。新聞記事は不特定多数の読み手を想定しています。読み手の中には忙しい中で目を通す人もいると考えられるので、大事な部分を先に、細かい部分を後に書く構成になっています。インターネットの記事は読み手を自由に想定できるので、書き手の自由に書くことができます。

【引用について】

自分の文章の中に、他者の書いた文章を入れることを「引用」といいます。引用は、他者の意見を入れることで自分の主張の根拠を示したり、引用した文章に対して自分の意見を述べたりする場合に用いられます。引用する場合には必ず引用符（「」）を用いて、もとの文章に手を加えず正確に書き写すのがルールです。

問六

新聞記事は不特定多数の読み手を想定しているため、書き言葉で書く必要があります。インターネットでは読み手の想定も書き手が自由に行えるため、自由な書き方ができます。

問七

それぞれの情報発信の手段には、それぞれの目的にそった長所と短所があります。長所だと思っていた部分が目的によっては短所になったりもするので、実際に使う場面を想定しながら、目的に合わせた手段を考えていきましょう。